

平成26年（ネ）第126号 大飯原発3, 4号機運転差止請求控訴事件

一審原告 松田正 外184名

一審被告 関西電力株式会社

証 拠 説 明 書
(控訴審第29準備書面関係)

平成29年1月23日

名古屋高等裁判所金沢支部民事部第1部C1係 御中

一審原告ら訴訟代理人弁護士 佐藤辰弥

同 弁護士 笠原一浩

ほか

号 証	標 目 (原本・写しの別)	作 成 年月日	作成者	立 証 趣 旨	備考
甲407	原発は温暖化対策になるの？ 経済学からみた本当の話 —原子力発電の費用とCO2排出量— http://www.greenaction-japan.org/internal/100612GreenAction_presentation.pdf	2009.6	大島堅一	①一般に、高レベル放射性廃棄物については、「人類が生存する期間中、人類に影響がないようにするという高度な要求を満たす必要がある」と考えられていること ②原発は気候変動対策にもならなければコスト削減にも役立たないこと 等	
甲408	論文「玄海原発と白血病」 http://ad9.org/pdfs/nonukessaga/y2015/dec12lect/morinaga.pdf	2015.12.12	森永徹	①玄海町における白血病による死亡率は、隣接する佐賀県唐津市と比較しても約2倍、佐賀県全体と比較すると4倍程度となっており、有意な死亡率の高さを示していること ②日本一トリチウム放出量が多いのは玄海原発とされるが、一	

					審被告が運転する本件原発も、同原発と並び、日本でも一、二を争う多さとなっていること	
甲409	論文「原子力発電所周辺で小児白血病が高率で発症」	写し	2008. 3. 1	澤井正子	ドイツ政府によって実施された「KiKK研究」によれば、原発から5 km以内で全小児ガン、小児白血病とも他の地域と比べて高い発症率を示しており、10 km以内でも急性リンパ性白血病の発症率が有意に高いこと等が明確に述べられていること。	
甲 410 の1	判決	写し	2014. 10. 17	プサン地方 方法院東 部支院	コリ原発周辺住民の健康被害について、同原発を運営する韓国水力原子力株式会社に損害賠償を命じる判決が言い渡されたこと	当該原告の個人情報は公開されているものを除き削除した
甲 410 の2	判決文翻訳	写し	2016. 12. 28	原告ら代理人 笠原一浩	上記の日本語訳	同上
甲411	記事「福井県・若狭湾の原発停止で北方系の魚介類が戻ってきた」 https://nikkan-spa.jp/549459	写し	2013. 12. 20	月刊SPA!	一審被告が原発の運転を停止したことで、若狭湾に多数生息していた北方系の魚介類が戻り、生態系が回復したこと等	

以上